

小学校に入ったら



①「家での7つのやくそく」

堺市では、全国学力・学習状況調査等から、教科学力の正答率と関係が深いと考えられる7つの項目について、学校と家庭が連携して取組を進めています。

「家での7つのやくそく」を守りましょう。

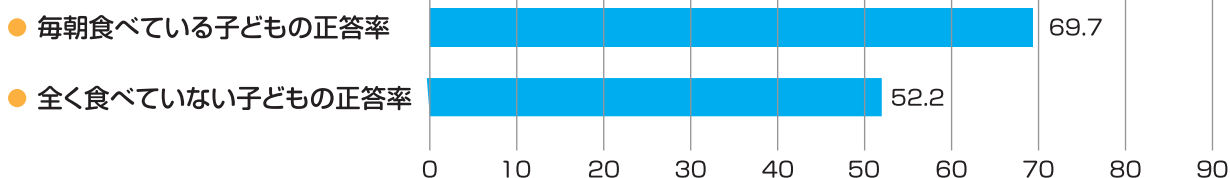
- 早寝・早起きの習慣をつけよう。
- 朝ごはんを毎日食べよう。
- 家族との対話を大切にしよう。
- 学校に持って行くものを前日に確かめよう。
- 宿題など自分から進んで勉強しよう。
- 携帯電話やスマートフォン、テレビやゲームの時間を決めよう。
- 本を読む時間をつくろう。



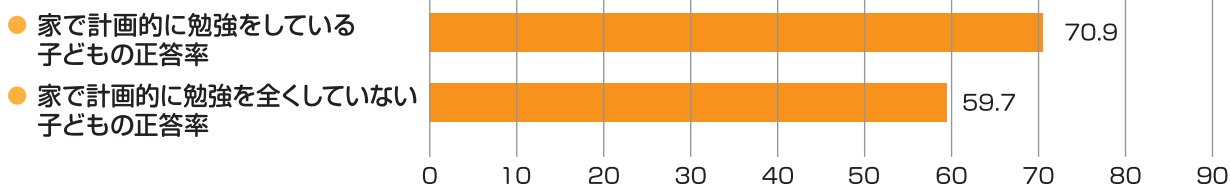
「市の鳥 モズ」

生活習慣や学習習慣が身についている子どもの学力は高い傾向にあります。

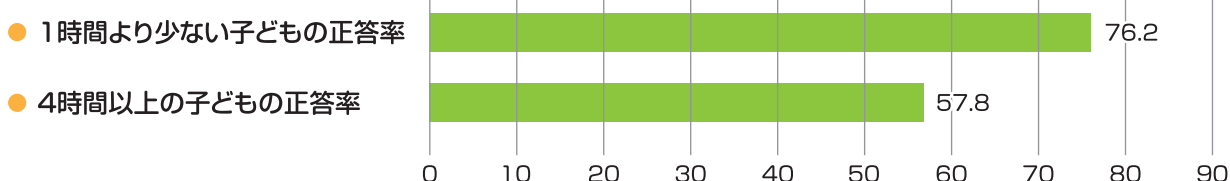
朝食と国語・算数の正答率の関係



家での計画的な勉強と国語・算数の正答率の関係



1日あたりのテレビゲーム(携帯型ゲームなども含む)をする時間と国語・算数正答率の関係



② 家庭の役割

子どもの学ぶ力を育てるためには、小学校と家庭が協力し、それぞれの役割を果たしていくことが大切です。家庭の役割は、子どもが安心して過ごし、学ぶ力を伸ばしていくための環境をつくることです。

学習に集中できる環境を!

- 学習しやすい環境を家族で協力して整えましょう。(生活リズム、部屋や道具の整理整頓など)
- 毎日、宿題をする習慣をつけましょう。
- 宿題や明日の持ち物など、いっしょに点検しましょう。
- 自分でできるようになったら、見守っていきましょう。

会話のある環境を!

- 短い時間でも、子どもとおしゃべりを楽しみましょう。
- 温かいふれあいの中でかわりましょう。
- 自信をもつように、みとめ、励ましましょう。

本のある環境を!

- いっしょに読書をしたり、本を読んで語りかけたりして、本に親しむ習慣をつけましょう。
- 家族で図書館に行きましょう。



子どもにとって、まわりの大人こそ最大の環境です!

子どもは大人の言動をよく見ていますし、大人に影響されます。

もう一度、家族の生活を見直し、まずは大人が望ましい行動を示していきましょう。

Q. いじめたり、いじめられたりしないか、心配です。

A. 集団生活の中では友だちとのトラブルは起こります。その内容は様々ですが、子どもたちが解決しようとするのは大切なことです。しかし、子どもの様子がおかしいと感じたら、子どもと話し合ったり、学校に相談したりしましょう。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にして、子どもの声や思いを受けとめられるようにしておくことが何よりも大切です。また、「いじめはけしてやってはいけないこと」として、いじめについて家庭の中できちんと話をする機会をもち、もし友だちがいじめたり、いじめられたりしていたらどうするかについても話し合っておきましょう。

③ 安全に過ごすために

安全に通学するために

入学すると、子どもは自分で通学路を通り、登下校するようになります。通学路については入学説明会で学校から説明がありますので、入学までに子どもといっしょに通学路を歩き、安全を確かめておきましょう。登下校の時間帯や雨の日を想定するとなおよいでしょう。



通学路の安全チェックポイント

交通量の多いところはないか?

車もちろんですが、自転車にも気をつけましょう。

危険と思われる場所はないか?

見通しの悪い交差点や歩道のない場所は特に注意しましょう。

人通りの少ない所はどこか?

周囲から見えにくい道路や公園なども知っておきましょう。



● 安全な通学のためには、子ども自身が、交通ルールを守り、気をつけて登校しようとする意識をもつことが大切です。交通ルールについて、子どもと話をしておきましょう。

● 防犯のため、複数で登下校することも大切です。できるだけ近くの子もたちといっしょに通学できるようにしておきましょう。(集団登校を行っている学校もあります。)

身を守るために

子ども自身が自分の安全を守る方法を身につけることが大切です。

犯罪や交通事故にあわないために、日頃から話し合っておきましょう。

「こども110番の家」など、いざというときに助けを求める場所や方法についても話しておきましょう。

まもりたい5つのやくそく

- 1 ひとりであそびません
- 2 しらないひとについていきません
- 3 つれていかれそうになったら、おおきなこえをだします
- 4 「だれ」と「どこ」であそぶ、「いつかえる」をいつからでかけます
- 5 ともだちがつれていかれそうになったら、すぐおとなのひとにしらせます

